

宮崎議員（自民議連）

平成 29 年 9 月 25 日

教育長 答 弁 実 録

（ 教 育 委 員 会 ）

（問）乳幼児期における家庭教育の充実について

県では、本年2月に策定した『『遊び 学び 育つひろしまっ子！』推進プラン』において、全ての保護者に情報を届ける取組の充実に向けて、「平成28年度までの発信における試行の成果等を受けて、平成29年度に方法等を決定」するとしているが、これまでどのような取組を行い、その成果と課題はどうだったのか、また、その成果等を踏まえて、全ての保護者に情報を届けるための今後の実効性ある取組に、どのようにつなげていくのか、併せて教育長に伺う。

（答）

乳幼児期における家庭での教育は、心身と人間関係の基盤を形成する大きな役割を担っており、子育てに悩んでいる保護者や関心の低い保護者などに対して、信頼できる情報や学習機会の提供などの支援が必要であると考えております。

子育てに役立つ情報提供の取組につきましては、すべての保護者に対して、家庭での取組内容を4コマ漫画やイラストを用いた親しみやすく分かりやすい啓発資料を作成し、幼稚園・保育所等や乳幼児健診会場、ショッピングセンターなどで配付したり、SNS等を活用し発信したりするなど、工夫をしながら取り組んできたところでございます。

啓発資料を配付いたしました園・所等の保護者へのアンケートにおきましては、啓発資料の内容を実践したとの回答が、初年度約5割であったものが、二年目には約7割となるなど一定の成果が上がったところでございます。

一方で、園・所等に通っていない乳幼児に対しましては、乳幼児健診の受診率が百パーセントでないこと、また、ショッピングセンターでの取組が限定的であったことなどから、保護者への周知は必ずしも十分出来ているとは言えない状況でございます。

教育委員会といたしましては、これまでの成果のあった取組を更に充実させるとともに、今後、多くの保護者が利用することとなる「ひろしま版ネウボラ」と連携するなど、すべての保護者が自信と安心感を持って子育てをすることができるよう、家庭教育への支援に努めてまいります。